



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 株式会社京三製作所 上場取引所 東  
 コード番号 6742 URL <http://www.kyosan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 戸子台 努  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 吉田 伸之 (TEL) 045-503-8106  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	33,640	15.4	△2,539	—	△2,290	—	△1,649	—
25年3月期第3四半期	29,156	△5.6	△3,266	—	△3,175	—	△2,181	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △748百万円(—%) 25年3月期第3四半期 △1,861百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△26.29	—
25年3月期第3四半期	△34.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	80,069	33,133	41.4
25年3月期	79,266	34,509	43.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 33,133百万円 25年3月期 34,509百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—		
26年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	8.3	1,100	△9.4	1,100	△18.8	600	435.6	9.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 — 社 ( — )、除外 — 社 ( — )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期3Q	62,844,251株	25年3月期	62,844,251株
26年3月期3Q	88,389株	25年3月期	87,473株
26年3月期3Q	62,756,322株	25年3月期3Q	62,757,303株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに回復しているものの、本格的な景気回復までには至らない状況で推移しました。

このような事業環境のなかで、当社グループは海外展開を中心とした成長戦略および生産効率改善を旨とした新工場建設など競争力強化に向けた取り組みを推進しております。

受注につきましては、信号システム事業において、海外案件は堅調に推移するものの国内大口案件の一巡などで前年同期を下回るなか、電気機器事業が関連市場の持ち直しから大幅に増加し、全体としては前年同期を上回りました。

売上につきましては、信号システム事業、電気機器事業ともに好調に推移し、前年同期を上回りました。

利益面につきましては、信号システム事業において、一部大口案件で損失発生を見込んだものの前年同期を上回り、電気機器事業も売上の増加に伴い改善していることなどから、全社の各利益は前年同期と比べて増加となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高52,570百万円(対前年同期1,080百万円増)、売上高33,640百万円(対前年同期4,483百万円増)、営業利益△2,539百万円(対前年同期726百万円増)、経常利益△2,290百万円(対前年同期884百万円増)、四半期純利益△1,649百万円(対前年同期531百万円増)となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりです。

#### [信号システム事業]

鉄道信号システムにおいて、受注はJ R西日本山陽新幹線ATC装置、海外案件では台湾の高速鉄道および在来線やシンガポールの新交通システム向け信号設備などが底堅く推移しましたが、前年同期との比較においては減少となりました。売上はJ R北海道新幹線信号設備、東京メトロ有楽町線ホームドアや中国向け電子連動装置用品などが堅調に推移したことから前年同期を上回りました。

この結果、受注高45,139百万円(対前年同期1,640百万円減)、売上高28,440百万円(対前年同期2,676百万円増)となりました。なお、セグメント利益は39百万円(対前年同期507百万円増)です。

#### [電気機器事業]

主力の産業機器用電源装置において、関連市場の回復基調が続くなか、液晶パネル製造装置用および半導体製造装置用が好調に推移し、また、通信設備用電源装置も鉄道事業者向けの拡販を推進したことなどから、受注、売上ともに前年同期を上回りました。

この結果、受注高7,431百万円(対前年同期2,721百万円増)、売上高5,200百万円(対前年同期1,807百万円増)となりました。セグメント利益は△166百万円(対前年同期499百万円増)です。

なお、かねてより建設を進めてまいりました本社・新工場の第Ⅱ期工事部分が平成25年10月25日に竣工し、既に稼働中の第Ⅰ期工事部分と一体となった「本社・総合工場」が完成しました。

今後は当工場を活用し、全社にわたる生産効率改善と品質強化をより一層推進してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

[資産、負債および純資産の状況]

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて802百万円増加し、80,069百万円となりました。主な増減は以下のとおりであります。

資産の部は、たな卸資産が8,571百万円、有形固定資産が1,641百万円、投資有価証券が1,399百万円増加し、受取手形及び売掛金が11,505百万円減少しました。

負債の部は、支払手形及び買掛金が721百万円、受注損失引当金が1,055百万円、借入金が短期、長期あわせて836百万円増加しました。

純資産の部は、利益剰余金が2,277百万円減少しました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,107百万円減少し2,212百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,068百万円のプラスとなりました。これはたな卸資産が8,552百万円増加したものの、売上債権が11,515百万円減少したことが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,271百万円のマイナスとなりました。これは本社工場生産拠点再構築等に伴う有形固定資産の取得により1,688百万円の支出をしたことが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、102百万円のプラスとなりました。これは短期借入金が250百万円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年9月30日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,385	2,638
受取手形及び売掛金	30,212	18,707
製品	3,125	3,682
半製品	2,707	2,633
仕掛品	13,184	21,197
原材料及び貯蔵品	256	332
繰延税金資産	1,523	2,433
その他	142	714
貸倒引当金	△67	△65
流動資産合計	54,472	52,275
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,258	9,002
その他（純額）	6,496	4,393
有形固定資産合計	11,754	13,396
無形固定資産		
	1,048	1,044
投資その他の資産		
投資有価証券	10,708	12,107
繰延税金資産	97	46
その他	1,217	1,232
貸倒引当金	△31	△33
投資その他の資産合計	11,992	13,353
固定資産合計	24,794	27,794
資産合計	79,266	80,069

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,229	12,951
短期借入金	10,000	10,250
1年内返済予定の長期借入金	1,240	1,392
未払法人税等	508	128
役員賞与引当金	26	—
受注損失引当金	517	1,573
環境対策引当金	3	—
その他	8,388	7,756
流動負債合計	32,915	34,051
固定負債		
長期借入金	7,010	7,445
長期未払金	325	303
退職給付引当金	4,047	4,211
資産除去債務	120	121
環境対策引当金	22	55
その他	315	747
固定負債合計	11,841	12,884
負債合計	44,756	46,936
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,270	6,270
資本剰余金	4,625	4,625
利益剰余金	20,957	18,679
自己株式	△28	△29
株主資本合計	31,824	29,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,711	3,580
為替換算調整勘定	△25	6
その他の包括利益累計額合計	2,685	3,586
純資産合計	34,509	33,133
負債純資産合計	79,266	80,069



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	29,156	33,640
売上原価	25,805	29,163
売上総利益	3,351	4,476
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,785	1,821
賞与	509	444
役員賞与引当金繰入額	30	—
退職給付費用	167	247
減価償却費	140	145
荷造及び発送費	637	690
貸倒引当金繰入額	△3	△1
その他	3,349	3,668
販売費及び一般管理費合計	6,617	7,016
営業損失(△)	△3,266	△2,539
営業外収益		
受取配当金	123	137
受取保険金	102	76
受取補償金	18	5
為替差益	21	76
その他	65	106
営業外収益合計	332	402
営業外費用		
支払利息	117	116
資金調達費用	117	26
その他	5	10
営業外費用合計	241	153
経常損失(△)	△3,175	△2,290
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除売却損	114	77
投資有価証券評価損	34	—
ゴルフ会員権評価損	3	3
環境対策引当金繰入額	—	41
特別損失合計	152	123
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,325	△2,414
法人税等	△1,144	△764
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,181	△1,649
四半期純損失(△)	△2,181	△1,649

四半期連結包括利益計算書  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,181	△1,649
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	297	868
為替換算調整勘定	22	32
その他の包括利益合計	320	901
四半期包括利益	△1,861	△748
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,861	△748
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失（△）	△3,325	△2,414
減価償却費	1,188	1,262
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	0
退職給付引当金の増減額（△は減少）	10	163
受取利息及び受取配当金	△124	△163
支払利息	117	116
売上債権の増減額（△は増加）	11,106	11,515
たな卸資産の増減額（△は増加）	△8,406	△8,552
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,136	712
その他	207	△1,064
小計	△1,362	1,575
利息及び配当金の受取額	124	143
利息の支払額	△138	△102
法人税等の支払額	△1,114	△548
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,491	1,068
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△57	△572
定期預金の払戻による収入	—	228
投資有価証券の取得による支出	△20	△20
非連結子会社株式の取得による支出	—	△30
有形固定資産の取得による支出	△458	△1,688
無形固定資産の取得による支出	△206	△156
その他	120	△31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△621	△2,271
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	5,130	250
長期借入れによる収入	2,000	1,500
長期借入金の返済による支出	△4,913	△913
配当金の支払額	△627	△627
その他	△93	△106
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,495	102
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	△7
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,609	△1,107
現金及び現金同等物の期首残高	3,453	3,319
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,844	2,212

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額(注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	信号システム 事業 (百万円)	電気機器 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客に 対する売上高	25,764	3,392	29,156	—	29,156
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	1,158	1,158	△1,158	—
計	25,764	4,550	30,315	△1,158	29,156
セグメント損失(△)	△468	△666	△1,135	△2,131	△3,266

(注)1. セグメント損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用2,131百万円が含まれております。なお全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(参考情報)

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

	アジア	その他	合計
I 海外売上高(百万円)	2,031	181	2,213
II 連結売上高(百万円)	—	—	29,156
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	7.0%	0.6%	7.6%

(注)1. 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・・・・中国、台湾等

(2) その他・・・・・・アメリカ、スイス、ブラジル等

2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額(注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	信号システム 事業 (百万円)	電気機器 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客に 対する売上高	28,440	5,200	33,640	—	33,640
セグメント間の内部 売上高または振替高	0	1,395	1,395	△1,395	—
計	28,440	6,595	35,036	△1,395	33,640
セグメント利益 または損失(△)	39	△166	△127	△2,412	△2,539

(注)1. セグメント利益または損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用2,412百万円が含まれております。なお全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(参考情報)

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

	アジア	その他	合計
I 海外売上高(百万円)	4,618	116	4,734
II 連結売上高(百万円)	—	—	33,640
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	13.7%	0.4%	14.1%

(注)1. 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・・・・中国、台湾、韓国等

(2) その他・・・・・・アメリカ、ブラジル

2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。